

一般質問

9月定例会では20人の議員が一般質問を行いました。

- ・紙面の都合上、質問等の一部を掲載します。
- ・QRコードは各議員の録画映像へのリンクです。
- ・会議録は11月下旬にウェブサイトに掲載予定です。

本稿は、質問者が作成しています。 ※本人の希望により、掲載しない場合もあります。

ID 1005109

9月8日(火)

- ・八木 丈之 議員 3P
- ・中村かずひと 議員 3P
- ・尾関さとり 議員 4P
- ・服部 修寛 議員 4P
- ・岡本 将嗣 議員 4P
- ・高橋 一 議員 4P
- ・小林けいめい 議員 5P
- ・柴田 雄二 議員 5P
- ・平松 邦江 議員 5P
- ・本山 廣次 議員 5P
- ・市川 智明 議員 6P
- ・河村 弘保 議員 6P

9月9日(水)

- ・井上 文男 議員 6P
- ・大津乃里予 議員 6P
- ・木村 健太 議員 7P
- ・彦坂 和子 議員 7P
- ・竹山 聡 議員 7P
- ・鶴飼 和司 議員 7P
- ・後藤美由紀 議員 8P
- ・宇山 祥子 議員 8P

八木 丈之 議員
令和会



中核市への移行について

Q 中核市指定の法定手続と今後のスケジュールはどうなっているのか。

A 7月29日に総務大臣に「中核市の指定を求める申出書」を提出しました。今後、国において閣議決定がされ、中核市に指定する政令が公布される予定です。

Q 中核市移行に関係する条例案のパブリックコメントを実施したが、今後どのように処理されるのか。

A パブリックコメントで寄せられたご意見を参考にして最終案をまとめ、10月に検討結果を公表します。条例案は、令和2年12月市議会定例会に議案として提出する

予定です。

Q 新市建設計画を延長して合併特別債の発行可能額はいくらか。また、新市建設計画に保健所建設は含まれているか。

A 再延長した場合の発行可能額は15億8千万円余です。新市建設計画の基本方針「保健・医療と福祉の充実」の中に、保健所の設置と、管理・運営に関する施策も含まれています。

Q 合併特別債の活用を視野に新市建設計画の延長を検討されたい。

A 有利な制度である合併特別債の活用も選択肢の一つとなるため、新市建設計画の再延長を検討しています。

中村かずひと 議員
新緑風会



ウィズコロナ社会への対応について

Q 新型コロナウイルス感染症警戒レベルにより、市民にとって求められる行動の参考になる一宮市版新型コロナウイルス感染症ガイドラインを制定されてはいかがか。

A 一宮市では、新規感染者数しか持ち合わせておりませんが、新規感染者数のみを警戒レベルの判断基準としている豊田市も参考にしながら、ガイドライン作成については他市の状況を調査し、検討します。

Q 感染拡大防止と社会経済活動を両立し、医療崩壊を回避するために、今冬に想定されるインフルエンザと新型コロナの同時流行に備えて、インフルエンザと肺炎球

菌ワクチン予防接種の助成対象拡大について、市の見解は。

A それぞれの施策の有用性は高いものと考えているが、限りある財源をいかに有効的に配分するか、全体の優先順位の中で検討してまいりたいと考えています。

Q 保育園の防犯対策強化のため、保育園に、小中学校と同じような警備委託の導入について検討されてはいかがか。

A 提案の警備委託につきましては、付近で不審者が出たと情報が寄せられた場合などに、緊急に対応できる有効な手段と捉え、導入について検討しているところであります。

令和会
尾関 さとる 議員



一宮市の新型コロナ対応について

Q 愛知県からは陽性者数の開示しか無く、陽性率や重症者数、死亡者数の情報が全くない状況とのことだが、危機的状況かどうかはどのように判断しているのか。

A 感染者の数や感染経路、年代の割合、感染経路不明者数など、市が把握できる情報とその分析のみで判断せざるをえない状況となっています。

Q 現在のPCR検査を受ける基準は。

A 医師の判断により、感染を疑う場合や濃厚接触者とされた場合と聞いています。

Q 陽性者の宿泊施設への入所基準は。また宿泊施設か自宅療養かの選択は可能か。

A 軽症以下の陽性者は、宿泊施設での療養が基本で、家庭環境や希望を確認のうえ、自宅療養の場合もあるようです。

Q 陽性者が入院等により、残された子どもや要介護者への対応はどうか。また、その場合の費用についてはどうか。

A 残された子どもが県の児童保護施設に入所する場合は費用の発生はないが、要介護者についての事例はなく、介護老人福祉施設への入所を想定した場合には、費用負担はあるのではないかと聞いています。

その他の質問項目

・市民意見提出制度について

一宮市民クラブ
服部 修寛 議員



小・中学校の屋内運動場について

Q 大規模災害時等で避難所として利用される場合、密を避ける為、収容人数の見直しと対策が必要と思うがいかがか。

A 避難所で三密対策を講じる場合、地域防災計画に定める人数は収容できない為特別教室や補助避難所を使用し、間仕切りやテント等備品の充実も図っていきます。

公民館の設置について

Q 公民館が設置されていない連区に、公民館を設置して欲しいがいかがか。

A 朝日連区は尾西南部生涯学習センター地区の一部を除き、公民館として整備する為、

協議を進めています。起・三条連区は公共施設全体のバランスを考慮しながら進めていく必要があります。

特別定額給付金の受給に関して

Q 豊橋市は申請前に亡くなり給付金が受給できなかった単身世帯遺族に「臨時特別給付金」10万円を支給している。一宮市も同様の措置を講ずるべきではないか。

A 現状では実施は考えていませんが、地方創生臨時交付金を活用し、独自の給付金を支給している事例は承知しています。国の検討状況や、全国の自治体の動きを注視していきます。

令和会
岡本 将嗣 議員



キャッシュレス決済とマイナポイントについて

Q スマホアプリ決済は利便性も向上しており、収納率向上にも寄与していると思うが、今後さらに拡充する意向はあるのか。

A 納付方法については、他のアプリ決済の導入も含め情報収集を行い、今後も多様化を図っていきたくと考えています。

保育園の入所手続きについて

Q 保護者が就労している場合と求職活動中では選考に差があるか。選考に漏れた場合、第1希望園に入り直す機会はあるか。

A 就労されている方のほうが順位が高

くなります。また、転園などで定員に空きが出た場合に入園の機会があります。

Q 定員を増やすことはできないか。

A 小規模保育事業所の開設や幼稚園の認定こども園化で定員を増やしています。

ラウンドアバウトの通行マナーについて

Q 11月に開催予定のサミットに合わせ着色した交差点中央部に駐停車する車両がある。通行ルールの周知徹底を望むがいかがか。

A シンボルロード改修工事に合わせて通行帯を設置しました。交差点の通行ルールについて、今後も周知徹底を図ります。

新緑風会
高橋 一 議員



公園について

Q 展示している蒸気機関車D51を中心とした、大平島公園の交通公園化を提案する。園路に模擬踏切や模擬交差点を設け、正しい歩行や自転車の乗り方を学ぶことができ、標識なども覚えることができる公園。D51の展示自体、日本の産業を支えた交通というテーマであり、これに安全教育を付加すれば、大平島公園の意義も一層引き立たせることができると思うが。

A 交通安全教育に特化した公園への再整備というご提案ではございますが、本公園の交通の果たす役割、安全性、重要性等については、引き続き、SLの保全・展示

を通じ、啓発活動に努めていきたいと考えております。

Q よく公園の公衆トイレを利用するが、清掃状況の良くない時が散見される。市民からの苦情等もあると思うが、どのように対応しているか。

A 汚れ等については、委託清掃業者に状況確認させるとともに市の職員も現地確認を行います。清掃直後に汚されたと思われるようなケースがほとんどですが、直ちに再清掃を行わせ、公衆便所の清潔の保持に努めています。

新緑風会
小林 けいめい 議員



公立学校における教員の働き方改革について

Q 令和2年4月に「公立学校の教師の勤務時間の上限に関するガイドライン」が「指針」に格上げされたということだが、この指針とはどのようなものか。

A 文部科学省が2019年1月に制定した、在校時間の上限を月45時間、年間360時間以内とする「公立学校の教師の勤務時間の上限に関するガイドライン」を法的な根拠のあるものへと格上げし、学校ではこれまで以上に、在校時間の縮減に向けて業務の量を減らすとともに、勤務時間の適切な管理が求められることになりました。

Q 令和2年度の一宮市の教職員の在校

時間は、どのような状況になっているのか。

A 6月調査の結果で、在校時間が80時間を超えた教職員の割合は小学校では約30%、中学校では約45%で、小学校と中学校を合わせると、全体の約36%の教職員が80時間を超える在校時間でした。

Q 令和元年6月と比較するとどうか。

A 6月の調査結果を昨年と比較してみると、月80時間を超える教職員の割合は、小学校が昨年度の33%から今年度は30%に減少し、中学校については67%から45%へ減少しています。80時間超えの人数も市内61校中、約7割の学校で減っております。

公明党一宮市議団
柴田 雄二 議員



狭あい道路解消の取り組みについて

Q 令和2年6月に策定した「一宮市都市計画マスタープラン」の地域別構想の中で、狭あい道路解消を検討される地域が3地域指定されたが、どのように検討されるか。

A 具体的手法については、市街化区域内において面的整備が有効と考えますが、権利関係の合意形成が困難であるため、建て替え時の2mセットバックを活用する手法等を関係課で連携し、先進事例を研究しているところです。

Q 過去の質問で岡崎市の事例紹介があり、市も研究されていると思うが、半田市でも所有者負担がより軽減された制度が平成

31年度から進められている。この制度は所有者が建て替え時に担当課へ届け出と寄付の意思を伝えるだけで、あとは市が後退用地の測量・分筆登記等を全て行うもの。また単発でも国の補助制度を活用されている。住民の協力を得て、解消を図っていくためにも期限付きである国の補助制度を活用し、優先順位を付けて、具体的な解消方途を検討されたいと思うがいかがか。

A 狭あい道路対策については、地区計画を定めていただいた地区に、補助制度等を活用できる仕組みを構築するなど、官民連携して解消を図ってまいりたいと考えております。

公明党一宮市議団
平松 邦江 議員



産前産後の支援について

Q コロナ禍によりイベントが中止及び縮小される中、妊婦健康診査の受診率は令和元年度と差がないようだが、リスクを抱える妊婦同士が交流できるオンライン講座等の開設や里帰り出産の機会を失った人への産後ケア等の支援の充実をお願いしたい。

A 妊婦の方向けの教室を動画配信し、多くの方の視聴を可能としました。今後も相談等を通じて支援してまいります。

偏見や差別をなくそう

Q 新型コロナウイルス感染に関して、感染者数だけでなく、克服した人数や入院

者数を発表できるように県に要望してほしい。また、感染に関する偏見や差別に関して赤十字社が「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！～負のスパイラルを断ちきるために～」を呼びかけている。これを広報して偏見や差別の抑制につなげてほしい。また、人権に関わる相談体制について、関係部署と連携し広報してほしい。

A 誹謗中傷などが実際に起こっております。「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！」の周知に努めていきます。また、人権に関する相談については、関係部署と連携を密にして、相談先の周知に努めます。

令和会
本山 廣次 議員



新濃尾大橋（仮称）周辺の活性化（富田山公園の再整備）について

Q 富田山公園の再整備には、市としても、ある程度の投資は必要ではないか。

A 全ての整備を民間事業者に行っていくことは難しいと考えております。市がどこまでの整備をすればよいのか、あるいは、どのような条件であればよいのか、整理していきたいと考えております。

Q 新濃尾大橋（仮称）や富田山公園周辺は、「旧林家住宅」「尾西歴史民俗資料館」「三岸節子記念美術館」「美濃路」「起宿」等、歴史、文化、芸術の拠点であり、そこに、スポーツや遊びの拠点として

富田山公園が加われば、観光スポットとして非常に期待が持てると思うが、いかがか。

A 富田山公園が整備されれば、地域の魅力が一段アップすることになりますので、観光の面から非常に期待しているところでございます。

保育園のコロナ対策（うがい）について

Q 市立保育園では、コロナウィルス感染防止のために「うがい」を中止したが、再開の見通しはどうか。

A 園児の安全を考え一旦中止しましたが、ビニールシートなどで飛沫の防止対策をとり、現在49園が再開しています。

公明党一宮市議員
市川 智明 議員



市営住宅について

Q 一宮市でも、愛知県や名古屋市と同様に連帯保証人をなくすことはできないか。

A この制度を残すことにより、滞納を抑制する効果が期待できると考えています。この制度を残す愛知県内の他自治体では、極度額を入居時の家賃の24か月分で設定しているところもあります。当市は、極度額を入居時の家賃の12か月分と低めに設定することで、連帯保証人を立てやすくなるのではと考えています。まずは連帯保証人をなくした他自治体の収納率等の状況や他市の動向を注視しながら、その在り方について検討していきます。

接触確認アプリの広報・啓発について

Q 福岡市のように一宮市でも、接触確認アプリCOCOAをインストールした場合のインセンティブを検討できないか。

A COCOAを活用することで、新型コロナウイルス感染症の陽性者と接触した可能性がわかるため、感染拡大防止につながることを期待されますが、インストールを条件としたインセンティブは今のところは考えていません。

Q 今後、市が行う様々な施策と連動させた普及・啓発を検討できないか。

A 施策との連動については、他市等の状況を注視していきます。

公明党一宮市議員
河村 弘保 議員



育休、男性、イクボス宣言

Q イクメンという言葉が浸透してきたものの、まだまだ、男性の育児休業の取得率については伸びていない。父親も母親も一緒になって、子育てに関われる環境を整えていくことに対する見解をうかがう。

A 男女共同参画社会を推し進めるという観点からも、父親、母親に限らず、周りの方々が積極的に育児に参加できる環境を整えていくことは、大切なことです。イクボスへの取り組みも、こうした環境を作るための1つであり、引き続き、男女共同参画社会の実現に向け、効果的な広報啓発活動に努めてまいりたいと考えております。

今から、快適、自転車ライフ

Q コロナ禍の3密回避の目的で、通勤手段の一つとして、電動アシスト自転車を貸し出す事業をはじめた自治体もある。健康寿命の延伸、フレイル予防を目的とした電動アシスト自転車を含めた自転車の活用についてどのように考えているか。

A 自転車は地球環境にやさしい交通手段であるとともに、健康面でも効果的であることから、これからの共生社会の構築において、様々な場面での利活用が期待できるものと考えております。今後も関係各課と連携を取りながら、研究してまいりたいと考えております。

令和会
井上 文男 議員



ウィズコロナの経済活性化対策について

Q 一宮市内の感染患者に関する情報を2021年4月から一宮市は中核市へ移行し保健所を所管することになるが、発表内容は詳細な情報提供に出来るか。

A 個人情報に配慮しながら、市民の皆さんが安心できるよう、可能な限り詳細な情報提供をします。

Q 感染防止徹底宣言ステッカーを一宮市独自で作成はしないのか。

A 市独自の取り組みについては研究しつつ、愛知県が作成している「安全・安心宣言施設」のステッカーを使い感染拡大の防止と社会経済活動の維持の両立をめざし

県と協力し進めてまいります。

Q ステッカーの掲示を飲食店や小売店に限らず、市内すべてのお店、事務所、会社、工場に貼っていただけける様にPRはできないか。

A すべての事業者の方々に感染予防対策を行った上でステッカーを掲示していただくように一宮商工会議所、尾西・木曾川両商工会や商店街振興組合の皆さんの協力をいただきながらPR、周知に努めます。また、市公式ウェブサイトへの掲示やSNSを活用し、市民の皆さんにPR、制度の理解浸透を図って行きます。

自由民主党一真会
大津 乃里予 議員



旧尾西西部児童館について

Q 旧尾西西部児童館は現在、どのような用途で使用されているのか。

A 倉庫として利用しています。

Q 昭和40年代に造られたこの建物内のアスベスト対策はどうか。

A 屋根裏に吹き付けられたアスベストは天井材で覆われ囲い込まれており、飛散の心配はありません。

Q 起つどいの里は他の同様の施設と比べ利用状況が突出しているが、理由は何か。

A 団体利用の他に連区の会合やイベント等に多く使用されており、公民館の代わりとして利用されているのが理由です。

Q 一宮市が策定した新市建設計画の中には「公民館の充実」と記載されているが、この建設方針について教えてほしい。

A 1連区に1館ずつ地区公民館を整備し、また老朽化が進んだ公民館につきましては、順次改築を進めるという方針です。

Q 起連区は市内で公民館施設がない連区だが、今後起連区に公民館を建設する考えはあるのか。

A 一宮市公共施設等総合管理計画のもと、公共施設全体とのバランスも考慮し整備を進める必要があるため、現時点で建設の時期をお示しすることは難しいと考えています。

令和会
木村 健太 議員



防災について

Q 東海豪雨以降、治水対策として一宮市では、どのような対策をしてきたのか。

A 市内では、愛知県が一級河川青木川に調節池を築造し、下流域への洪水調整を行っております。新川流域では、準用河川千間堀川の河道改修、日光川流域では準用河川川崎川の河道改修や小信調整池の整備を行っております。

Q 最近の日光川の越水実績と防止の対策及び国や県、関係市町村との対策協議はどうなっているのか。

A 市内中心部において、二級河川日光川の越水はございません。市では、常時、

日光川の水位を監視しており、流域内において浸水が発生又は想定される場合には、日光川の増水した水を日光川玉野・祖父江放水路に導水し、西中野排水機場よりポンプにて一級河川木曾川へ強制排水するよう愛知県に要請し、日光川の水位を下げるようにしております。日光川支川の二級河川野府川から木曾川へ放流する日光川2号放水路が、令和2年度、国に事業採択され愛知県により着手されました。

その他の質問項目

・路上喫煙・タバコのポイ捨て問題について

日本共産党一宮市議会
彦坂 和子 議員



新型コロナウイルス感染拡大抑止のために

Q 採取した検体を判定する検査センターを一宮で設置するよう、県に働きかけてほしいと思うがいかがか。

A 検査センターの設置に関して、県からの問い合わせ等には速やかに対応できるように努めます。

Q インフルエンザ予防接種の一部負担金1200円が、2020年度から1500円になった。感染拡大抑止のため、元に戻すことを緊急に検討してほしいと思うがいかがか。

A 一部負担金については、厳しい財政状況の中、行政サービスや公共施設利用者にお支払いいただく負担額の見直しをして

いますので、ご理解ください。

Q 全学年で少人数学級を取り入れることについて、市としての考えはいかがか。30人以下学級の実現に向けて、今後も関係機関に働きかけてほしい。

A 一人一人を大切にしたいきめ細かな指導を行うために、県費負担教員の配置による少人数学級の拡大について、引き続き県教育委員会に訴えていきます。

その他の質問項目

・中学生の制服を変える計画の検討について

令和会
竹山 聡 議員



小中学校プールの集約化及び共同利用についての課題と検討について

Q 水泳の時間は何時間確保されているのか。

A 水泳の時間は市で作成した共通のカリキュラムを使い、小中学校とも年間10時間程度実施しています。

Q ここ数年のプールの使用状況はどうなっているのか。

A 今年度の市内の水泳の授業は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、実施しませんでした。昨年、一昨年の夏は気温が高く、運動禁止を示す暑さ指数が31℃を超える日は、水泳の授業や部活動、夏休み

のプール開放は中止しました。

Q 水泳授業の在り方や施設の集約化、民間施設、温水プールなどの公共施設を含めた共同利用の推進を検討していただきたいがいかがか。

A 子どもたち一人ひとりの資質や能力を伸ばせるような環境を整えていくことが大切です。また、教育課程に実施に必要な人的又は物的な体制を確保することも大切です。全国の事例や、既存の屋内プールの活用、民間のスイミングスクールの活用など他の自治体の取組みも参考にし、学校プールにかかわる課題について検討していきます。

自由民主党一真会
鵜飼 和司 議員



一宮市の医療提供体制等の強化

Q 一宮市立市民病院に導入する遺伝子検査機器の具体的性能や、要するコストについて伺う。

A 具体的性能は6件分の検査が行える機器2基を整備するため、処理件数は1日24~36件程度と考えています。耐用年数は5年、特別なメンテナンスは不要、1回あたりの単価は試薬が2,615円・検体容器等の材料が444円、人件費は職員を調整して配置予定であり費用の増加はありません。

Q 国の交付金等を活用し、一宮市独自で検査対象範囲を広げていく可能性について伺いたい。特に必要な保育、教育、介護

等の現場において、コロナ感染が発生した場合、クラスターになる可能性が高いと同時に、対策することで次なる感染拡大を食い止めることが可能と考える。なにより、私たち市民が模索するwithコロナ社会での不安と混乱の解消に向けて大きな役割を果たすと確信しているが、その意向を伺う。

A 感染拡大防止ともすれば守りに使っていたところもあります。議員ご指摘の通りもっと積極的に、withコロナの時代にどういう形で経済・社会活動を前に進められるかという攻めの姿勢で、この新しい時代を作っていく中で、検査体制の拡充は非常に重要な課題だと受け止めております。

後藤 美由紀 議員
いちのみやを良くする会



産前産後ケアの充実と虐待防止について

Q 切れ目ない支援として産後ケア券を母子手帳に加えることはできないか。

A 全ての方が対象ではなく、体調不良や育児不安が強く、周囲に支援者のいない産婦に対して、個別にご案内しています。

Q 産後1ヶ月の頃に母親が医療機関で健康診査を受ける事業や宿泊型・訪問型の産後ケア事業が始まったが、もう一歩進んで民間の力も借りてデイサービス型の産後ケアの教室なども考えていただきたい。また、早期の虐待防止にもつながらとされる「こにちは赤ちゃん訪問」では、毎年どれくらいの訪問ができていますか。その中で、

虐待などに気付くケースはあったか。

A こにちは赤ちゃん訪問で、面接できたのは2565人93.1%、できなかった理由としては、里帰り103人、転出・入院38人などでした。面接した中で、育児不安や虐待の心配な継続支援が必要と判断したのは、89人3.5%でした。その方たちには、継続して地区担当保健師が支援を行い、必要に応じてこども家庭相談室と連携しています。

その他の質問項目

- ・コロナ禍におけるメンタル的サポートと中核市に向けての児童相談所のあり方
- ・生活困窮者の居場所について

宇山 祥子 議員
いちのみやを良くする会



医療用ウィッグの購入助成

Q 抗がん剤治療等の影響を受けながらも前向きな気持ちで頑張る患者さんを応援する助成事業を考えて欲しいがいかがか。

A 患者さんの経済的負担の軽減は勿論、社会参加の促進や療養生活の質の向上のためにも必要性は承知していますので、県の動向、状況等を見極めたうえで適切に対応していく考えです。

乳がんで大切な人を失わないために

Q 乳がん検診が1000円で受診できる事を知らない方、町内会に加入されていない方への周知の対策として「検診とご褒美は

セット」という観点から健康マイレージ事業の案内を検診の勧奨に同封してはどうか。

A 健康マイレージ事業は健康診断やがん検診を受診したポイントで、カタログギフト1万円相当、お米券、図書カード等が抽選で獲得していただけるようになっていました。今後も様々な機会を増やして、若い世代の女性に意識付けを考えていきます。

Q 10月のピンクリボン月間に因み、ツイーンアーチ138をピンク色にライトアップできないか。

A 現在、新型コロナウイルスの感染状況を周知する目的でライトアップしており、この状況等を見ながら検討して参ります。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のための取組

新型コロナウイルスが蔓延する中、一宮市議会が引き続き、意思決定機能及び行政監視機能を発揮するため、8月26日に議会運営委員会を開催し、9月定例会における本会議及び委員会審議のあり方について、次のとおり決定しました。

- ①議場・委員会室の入口扉は開放する。
- ②入室時に非接触式体温計による検温をする。
- ③一般質問の発言時間を30分以内に短縮する（答弁を含む）。
- ④一般質問では、スライド（パソコン使用）は取りやめ、2人ずつ質問した後、休憩を取る。
- ⑤開会日、閉会日以外では密集とならないよう出席議員を調整する。
- ⑥当局出席者は、上程議案に関係する職員のみとする。

6月定例会での対策に加え、①と②を追加しました。また、③の一般質問の発言時間を短縮することにより、3日間を予定していた一般質問は、2日間（9月8日・9日）となりました。

市民の皆様には、本会議・委員会の傍聴について、9月定例会においても自粛の協力をお願いしました。皆様のご理解、ご協力、誠にありがとうございました。